

自主貢献

あいさつは あふれる笑顔の あいことば

横浜市立錦台中学校 学校だより
発行日 平成29年3月3日(金)
発行者 学校長 梅澤 薫
所在地 神奈川区西寺尾3-10-1
電話 401-3644 FAX431-0244

URL <http://www.edu.city.yokohama.jp/school/jhs/nishikidai/>

卒業を迎えて

校長 梅澤 薫

穏やかな日や風雨の強い日、温かさや真冬のような寒さなど様々な状況がある、まさに春らしい日々が続く中、少しずつ確実に本物の春は近づいているように感じています。

平成28年度も年度末を迎え、3年生および3年生の保護者の皆様には錦台中学校の最後の学校だよりを読んでいただく時を迎えました。本学校だよりにおいても時の流れの速さを、表現を変えながらお伝えしてきましたが、3年生がいよいよ「その時」を迎える日が迫ってきました。その様な時を迎え私自身、今一つ気持ちが追いついていないところがあり、最近は少し複雑な心持ちで日々を過ごしております。

学年末テストや横浜市の学力学習状況調査等もあり、入学試験等に臨んだ3年生だけでなく、学校全体で学習面が強調される2月が終わりました。

いよいよ錦台中学校にとって最も大事な行事である、卒業証書授与式を迎えます。私たちは時々物事の重要さを伝える言い方として、「～の中で最も大事な・・・のうちの一つ」などといった言い方をすることがあります。しかし、学校にとって卒業証書授与式はそんな言い方をする必要のない、紛れもなく最も重要な行事です。式は卒業生が中学校生活を振り返り、将来への決意を新たにしながら、友人や先生方と過ごした3年間を懐かしみ、保護者・家族、地域の皆様をはじめ、すべての関わりのある方々に感謝の思いを馳せる大切な時間です。ですから卒業証書授与式は厳粛な雰囲気の中それぞれの、様々な思いが行き交うような心のこもったものとしなければなりません。その様に卒業証書授与式を最も大切に考える私たち教職員は、3年生がまさに新入生として入学した日から毎日、3年後の卒業証書授与式の姿を思い描いて教育活動を実践してきたと言っても過言ではありません。3年生の皆さんにはそのような先生方の熱い、突き刺さるような思いをしっかりと受け止めて式に臨むとともに、残り少ない日々を大切に過ごしてほしいと切に願うところです。

在校生にとっても最も大事な行事であることに変わりはありません。当日は「送る側」として、3年生の姿をしっかりと見届けてください。しっかりと見られるからこそ、「送られる側」も思いが高まります。1年後や2年後の自身の姿を想像しながら、式の大切な一員としての役割をお願いします。

3年生保護者の皆様、このたびはお子様の中学校ご卒業おめでとうござります。一人ひとりの様々な力を伸ばせるよう、教職員一同力を尽くしてまいりましたが、お子様の3年間の成長はいかがだったでしょうか。今後も卒業生保護者様として本校への変わらぬご支援をどうぞよろしく願います。